

長野公民館報

平成24年1月号

発行：長野公民館
館長：西田孝道
主事：廣畑明央
三栖コミュニティセンター
Tel 34-0022・Fax 33-0836



あけましておめでとうございます

旧年中は、大災害にもかかわらず公民館活動にご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

本年も、皆様方の生涯学習の一助となりますような諸行事を企画させていただくよう努力しますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

特に、本年度は、自主自立をめざし急速に復興を成し遂げつつある伏菟野地区の絆（きずな）に学び、希望を胸にこの一年間を過ごしたいものです。



長野公民館長 西田孝道
文化委員長 竹内克彦
体育委員長 竹内健悟

ご成人おめでとうございます

新成人の皆様の、ますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

「成人の日」記念式典

- と き 平成24年1月8日(日)
- 受付 午前10時30分～ 開会 午前11時～
- ところ 紀南文化会館大ホール
- 対象者 田辺市の新成人(平成3年4月2日～平成4年4月1日までに生まれた方)

- お問い合わせ
田辺市教育委員会 生涯学習課公民館係
(電話 26-4925)



三栖谷新春ソフトバレーボール大会出場者募集

三栖谷の3公民館(万呂・三栖・長野)では、恒例のソフトバレーボール大会を下記の通り開催いたします。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

- 日 時 平成24年1月15日(日)
午前8時30分から
- 場 所 衣笠中学校体育館
- 競技部門 男女混合の部
 - ・競技中男子は2名以下(女子だけでも可)
 - ・1チーム登録人数は6名まで(選手4名)
- 参加資格 三栖谷地区に在住または勤務の一般男女(学生を除く)
 - ・申し込みはチーム単位でお願いします。
 - ・チーム名は、参加者で付けて下さい。
- 締め切り 平成24年1月6日(金)午後5時迄
- 申込み先 長野連絡所、または、三栖コミュニティセンターまで



※要項及び申込用紙は、長野連絡所、三栖コミュニティセンターにあります。

『長野地区社会史』新刊の紹介

長野の庄屋さんの日記によると、江戸時代の長野は鮎の名産地で、一度に300匹近くの鮎を田辺の殿様に献上していたようです。

このような珍しい話から、昔懐かしい村役場や出荷組合、青年団や婦人会活動はもとより、最近のマルチ栽培まで、長野地区のありとあらゆる社会的出来事を、350ページにわたり掲載された冊子がまもなく刊行されます。

冊子名は、『長野地区社会史』で、著者は、近年『長野村郷土誌』を再刊された横浜在住の森 光國氏です。氏の郷土に対する熱い思いが、『長野村郷土誌』を再刊後、わずか2年あまりでこの大作を完成させたのです。

この館報が配布されるころには、冊子の方も刊行されていると思われますので、皆様方もぜひお読みいただき、自然豊かな長野の良さを再認識し、先人たちの心意気を学びたいものです。

公民館長 西田 孝道

市民カレッジを聴講して

大島 寛太 氏

9月から7回にわたって、田辺市教育委員会が主催しているまちづくり市民カレッジ～東日本大震災は、田辺市のまちづくりに何を問うのか～に参加しています。12月11日の第4回講座は、原発事故とこれからのエネルギー社会についてのお話でした。

講師は、元京都大学原子炉実験所助教授の海老澤徹氏と和歌山大学経済学部教授の中村大和氏でした。

福島事故以来、原発の是非を問う議論が盛んに行われています。私たちが生きてゆくのに空気、水、土が必要なように、私たちの現在の生活様式を維持するためには、電気が欠かせない。電気は必要だけれど、原発が欲しいわけではない。原子力発電で副産物として生成されるプルトニウムは、半減期2万8千年以上、放射線を放出し続ける。プルトニウムは缶詰にして保管されますが、その放射性廃棄物の処理能力を、現在人間は有していない。例えば事故が起こらなくとも、ほとんど永遠ともよべるような期間、猛毒の物質を放出し続けるものを排泄しながら今日の明かりを灯すというのは、どうしても賢いやり方とは思えない。放射線は、DNA(遺伝子)を破壊するそうです。僕は、子どもや孫、そのまた孫の孫のひ孫の先まで続いてゆく世界が、今以上に汚れたものであって欲しくない。

では、これからはどのような方法で必要な電力を確保しようか。というのが講座後半の内容で、実例を交えながら、適材適所ならぬ適地適法といおうか、様々な可能性を実感させてくれるものだった。風の吹くところでは風力を使い、広い土地が確保できるならば太陽光を併用し、止まる事なく流れる川があるのだから、小水力発電を使わない手はない。方法はいくらかもある。電力事業の自由化と、電線の共有さえ実現すれば、エネルギー社会の転換は一気に進む。そういうところの手前まで、技術は進歩してきている。

テーマは、電気エネルギーに関するものだったけれども、これは単に原発が要るとか要らないの話ではなく、私たちはどのような社会を目指してゆくのかという事を模索する作業なのだと思う。話を聞きながら、そんな事を考えた今回の講座でした。

まちづくり市民カレッジのご案内

ボランティア活動と地域づくり

「東日本大震災は田辺市のまちづくりに何を問うのか！」をテーマに、様々な分野の第一線で活躍されている研究者などを講師に招き、これからの田辺市の安全・安心なまちづくりを考えます。

日時 1月22日(日) 13時30分～16時30分
場所 ひがしコミュニティセンター「大集会室」
田辺市南新万 28-1

内容

報告「台風12号災害の被災地支援に関わって
～和大ボランティア団体FORWARDの活動を通じて～」

講師：FORWARD（和歌山大学の院生、学生によるボランティア団体） 酒井 豊 氏

講義「災害救援ボランティア活動が地域にもたらしたもの」

講師：渥美 公秀 氏
（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

対象 市内にお住まいの方

申込み 直接、会場までお越しください。

問合せ 生涯学習課 生涯学習推進係
（電話：0739-26-4908）

年末・年始の古紙ステーション・資源回収ボックスへの搬入について



長野連絡所の回収ボックスは、
12月29日(木)から1月3日(火)の間、
持ち込みできませんので、ご注意ください。

自然体験・観察教室のお知らせ

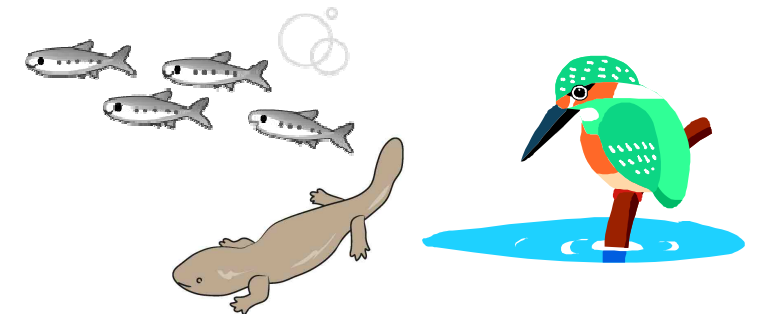
田辺市では、季節に応じた自然体験・観察教室を実施しています。自然に触れ、その観察を通じて自然の仕組みを知り、その大切さを学習することを目的としています。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

タイトル	「野鳥の観察」
日時	2月4日(土) 9:30～12:00
場所	富田川左岸と高瀬川
集合場所	ふるさと自然公園センター 9時集合・出発 なお紀伊富田駅へ、9時20分に集まっています。 ただいても結構です。
定員	なし
参加費	無料
講師	ふるさと自然公園センター専門員ほか
対象	小・中・高校生・一般（小・中学生は保護者同伴）
持ち物	筆記用具・双眼鏡があれば持って来てください。
服装	防寒の準備・長靴。
申込み	前日までにハガキ又は電話・FAX・電子メールで住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。

タイトル	「カスミサンショウウオの観察」
日時	2月19日(日) 9:30～12:00
場所	ひき岩群周辺
集合場所	ふるさと自然公園センター
定員	なし
参加費	無料
講師	ふるさと自然公園センター専門員ほか
対象	小・中・高校生・一般（小学生は保護者同伴）
持ち物	筆記用具・採集用具・ビニール袋など。

服装	防寒の準備・長靴・手袋。
申込み	前日までにハガキ又は電話・FAX・電子メールで住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。

タイトル	「海辺の生き物」 磯の観察
日時	3月27日(火) 13:30～15:30
場所	元島
集合場所	13:00までに、元島の堤防を渡った場所。
定員	なし
参加費	無料
講師	ふるさと自然公園センター専門員ほか
対象	小・中・高校生・一般（小学生は保護者同伴）
持ち物	筆記用具・採集用具・ビニール袋など。
服装	防寒の準備・長靴・手袋。
申込み	前日までにハガキ又は電話・FAX・電子メールで住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡下さい。



連絡・申込先 ふるさと自然公園センター
住所 〒646-0051 田辺市稲成町1629番地
TEL 0739-25-7252
FAX 0739-25-7252
E-mail hikiiwa@mb.aikis.or.jp
休館日 毎週月曜日
(休館日が祝日の場合はその翌日)